

通木 信もれ日

Komorebi Tsushin

第15号

平成16年1月
つきだて花工房発
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達郡月舘町大字下手渡字寺窪7
TEL024(573)3888 FAX024(573)3887
E-mail: hanakobo@safins.ne.jp
休館日/毎月第1、第3火曜日(休館日の前日は17時まで営業)
つきだて花工房ホームページ <http://odehime.or.jp/hanakobo>

つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続ける皆様の公共施設をめざします。

花のアルバム

アルバムの
15ページ

シンビジウム

慶びの初春です。

陰暦の二月は睦月

仲良く睦み合うとき…

人、自然、鳥、花、

たくさん生き物たち

そのすべてが仲良く睦み合える

そんな一年でありますように…

新年、明けまして

おめでごとくお過ごしませう。



品種/クリスタルフルーツ

2004年、新しい一年が始まりました。いつもと変わることなく昇る太陽も、初日の出となれば、静かでおごそかな空気が流れる中、清々しい気持ちに特別な思いを込めて仰ぎ見たことでしょうか。

古来、自然の恵みも脅威も知り尽くしていた日本人は、万物に神が宿ると信じていました。お正月の本来の行事は、五穀をつかさどる「年神様」をお迎えすることであり、そのために「門松」で目印を立て、「注連縄」で留まってもらい、「鏡飾り」でささげものをするのです。

お正月の過ごし方は年々変わってきています。すさまじいスピードで科学が進歩した現代、人々が見えるものだけを信じるようになり、願う心や、祈る心を無くしてしまえば、新たな年の太陽に手を合わせることも無くなってしまうのでしょうか。

新春を寿ぐ花

2003年のクリスマスからこのお正月にかけてつきだて花工房の玄関を彩ってくれたのは「シンビジウム」の花。毎年新しい品種が次々と登場するなかでこの「クリスタルフルーツ」は透き通るような花びらに控えめ



ひとつの莖に多くの花をつける

な淡いピンクが可憐です。

シンビジウムはラン科シユンラン属の多年草。その数は750属、25000種を数え、約30万種といわれる地球上の植物の約1割を占める最大の科だそうです。

花言葉は「素朴」「誠実な心」、名前は雷の形から古代ギリシヤ語で「舟」を意味し、團芸種には「福の神」「富士の精」など縁起の良い名前もあり、心新たにスタートする新春にはびつたりの花と言えるでしょう。

温故知新



花工房で焼いた炭を飾って邪気を祓う

日本には古くから伝わり、これからも守りたいものがたくさんあります。炭の文化もそのひとつ。菊炭のような最上質の炭を焼けるのは今や日本だけだそうです。最近では遠赤外線効果、マイナスイオン効果、消臭効果など話題の炭ですが、古来では邪気を祓うとされ、また茶道の世界では、お正月には鏡餅ではなく炭を飾って感謝の意を表します。

新年は、つきだても花工房でも炭を飾ってあたりを清め、すがすがしい空気の中でお客様をお迎えいたしましょう。

温故知新、古くから伝わるものに学ぶ心を忘れずにいたいです。

朝日のように さわやかに：

朝もやにつつまれ、
幻想的な風景が広がる里に、
太陽の光が差し込む美しさからは
言葉にならないパワーを感じます。
「朝日のようにさわやかに」
喜びに満ちたいちにちの始まりです。

桜を育てる

平成15年11月22日、つぎだて花工房周辺に2000本の桜の木を植える植樹祭が行われ、財団法人 日本さくら協会からは、第19代さくら女王、浅野玲子様ご参加くださいました。

当日は北風が強く、みぞれ交じりの寒い日となりましたが浅野様はごあいさつで「いつか日かこの時候がよき思い出になることでしょうか」とお話をされ、みずから桜の植樹を



を浴びて訪れる人々を楽しませてくれることでしょう。

桜の木は、日本列島に人々が住みはじめる前から野山に自生していたと言われます。その桜の木が今、環境の変化や管理の放任などが原因で衰えかけています。

つぎだて花工房周辺に植えられた桜たちの50年後、100年後の風景を想像しながら、21世紀を生きる子供たちに、春爛漫の希望を託したいものです。



第19代桜の女王 浅野玲子さん

行ないました。

植樹祭には総勢2000名ほどの参加者があり、親子連れも目立ちました。植

栽された苗木は、約10年後には見ごろを迎え、や

わらかな春の光

を浴びて訪れる人々を楽しませてくれることでしょう。

21世紀を生きる子供たち

お食い初め(ももかの祝いともいわれる)でつぎだて花工房をご利用くださったお客様をご紹介させていただきます。
愛らしいお子様の健やかな成長をお祈りいたします。

「お食い初め」は誕生されたお子さまが一生食べ物に困らないようにと願い、初めて箸を使って食べさせる儀式のことです。

つぎだて花工房では、山盛りにした御飯の上に丸めた御飯をのせ、小石を5個(菌固めとして)意志が強くなるように、梅干しを5個(しわを長寿に見立てて)そ

れぞれの皿にご準備いたし、お子様のお祝いをさせていただきます。平安時代から行なわれている伝統あるこの儀式は、祖父母や長老が「養い親」としてひざに赤ちゃんを抱いて箸をとり、食べさせるまねをします。赤ちゃんが男の子なら男性、女の子なら女性が務めます。

2003年11月24日ご利用

山岸 一颯(いっさく)くん

福島市

名付け親は、お父さんの敏康さん。「いっさ」という名前の響きが気に入ったそうです。お母さんの洋美さんのご実家は月館町。時々「颯くんを連れてつぎだて花工房にお立ち寄りください。会うたびのご成長を楽しみにお待ちしております。



2003年11月1日ご利用

森 雅貴(まさき)くん

七海(ななみ)ちゃん

右

左

月館町
翼君のおじいちゃん、佐久間利夫さんご夫妻は花工房オープン当時からのお客様。
「つばさ！つばさ！」と呼びかける佐久間さんの姿がとても微笑ましく、赤ちゃんはやっぱり天使のような存在だと実感しました。食い初め膳の石をお守りにするとお持ち帰りになりました。



愛らしい双子の赤ちゃんと、ご家族の笑みが絶えません。長女の千尋ちゃんがちよと寂しいのか写真撮影に応じてもらえませんでした。残念！待望のご長男誕生あらためましておめでとーございます。

2003年12月14日ご利用

三浦 翼(つばさ)くん

川俣町

翼君のおじいちゃん、佐久間利夫さんご夫妻は花工房オープン当時からのお客様。
「つばさ！つばさ！」と呼びかける佐久間さんの姿がとても微笑ましく、赤ちゃんはやっぱり天使のような存在だと実感しました。食い初め膳の石をお守りにするとお持ち帰りになりました。



「ぐるっと福島美味紀行」 月館町取材



旅人 渡部三妙子さん

ふるさとの味を求めて二人の旅人が県内90市町村を訪ね歩く人気番組、ぐるっと福島美味紀行(テレビユー福島)。今回月館町には旅人渡部三妙子さんがお越しになり、つぎだて花工房では、木工体験、ピザ作りを楽しまれたあと、ハーブのお風呂でリラククス、さらには料理長が腕をふるったお料理をシアワセそうに召し上がってくださいました。

思い出の記念写真

月館町糠田にお住まいの湯浅忠祐さんとご兄弟姉妹、そのお子様など、湯浅ファミリーがつぎだて花工房に大集合！ほのぼのとした温かさが伝わってくる家族の仲の良さとその絆は、これからの時代に大切にしたい宝物です。



湯浅ファミリー

●おすすめ平日ご休憩プラン(月曜日から金曜日。祝日は除きます。)
陽だまりコース…個室休憩と入浴と松花堂弁当がセットになってお一人様1,800円(11時から15時まで、3名様より)
ゆったりコース…大広間休憩と入浴がセットになってお一人様500円(10時から15時まで)
※ゆったりコースは大広間が貸切の場合ご利用できないことがあります。あらかじめお電話でご確認ください。



朗読をされた島岡さんは自ら、この日のために約1ヶ月かけて主人公「赤おに」の人形を製作。どこか寂しげな赤おにの表情が胸をしめつけました。チェロの古後さんは「泣いた赤おに」のオリジナルテーマ曲を作曲くださり、ピアノのシゲさんと息の合った演奏をとどけてくださいました。

また昨年7月に「劇団四季」を退団されたPochiこと島岡幸代さんが同行。舞台や会場のイメージづくりなど広きにわたってコーディネートくださいました。

朗読／島岡安芸和 チェロ／古後公隆 ピアノ／シゲ山本



秋の夜長の小さな朗読会#2 『泣いた赤おに』

平成15年11月3日(文化の日)

●島岡さんより届いたお便り

朗読会ではお世話になりました。横浜に戻っても、まだ興奮している感じがです。月館町は良い所です。正直、時計をあまり見ませんでした。自然の中で、日のやることをやって陽が暮れて、ぐっすり眠る。不思議な充実感と横浜ではそう味わえない、ワクワクした気分。凄く自分に素直になれて、これからやるべきことがわかったりして。また、人と人の信頼関係というのは、本物の何かを生み出す源なのかもしれませんね。今年もまたつぎだて花工房のスタッフ、観にきてくださったお客様から、夢と希望、そして表現者としてのレベルアップの機会をいただきました。本当に幸せな大きな財産です。この財産を有効に使って、もうひと回り大きくなって、また皆さまにお会いできることを楽しみにしています。本当にありがとうございます。

つぎだて花工房からの提案

朗読に興味のある方、つぎだて花工房に集いませんか！
詩、絵本、童話：声を出して読むこと、耳を澄まし、心からつぼにして聴くことは、とても楽しいこととおもいます。具体的な活動はただ今企画中です。木もれ日通信16号でお知らせいたします。

次はクリスマスコンサートですね。花工房ならではのあたたかいコンサートになること間違いなしです。素敵な一夜をお迎えください。皆さまのご健康とつぎだて花工房の益々のご発展を心よりお祈りいたします。敬具
平成15年11月6日 島岡安芸和



★会場雰囲気と吉田さん、田子さんがピタリでとてもよかったです。ステキな夜をありがとうございました。(30代女性)
★つぎだて花工房が月館町の文化の発信地になることを今後とも期待します。積み重ねが大事です。(60代男性)
★以前聴いたときよりもパワーアップ、優しい歌声の中にも力強さを感じました。今日のトークもさえていました。田子さん、温かったです。(40代スタッフ)



サントモのぼの 吉田慶子 クリスマスコンサート
平成15年12月15日(月)

つぎだて花工房がお贈りした はじめてのコンサート



★あきらめていたチケットが幸運に手に入り本当にうれしかった。感謝しています。とてもよかったです。(30代男性)
★ほのぼのとして気持ちが安らぎました。花工房にはピタリの企画だと思いました。CDも買ってしまいました。(40代女性)

★私はブラジルが故郷なのでとても懐かしくなり、いつしよに口ずさんでしまいました。(30代女性)
★ラジオの雰囲気からあの楽しいトークは想像していませんでした。期待以上でまたやってほしいです。(30代男性)

もりもり農園

風物詩

大根・干柿



はみだしコーナー

花工房BGM ●ケルツ/エンヤ ●雨だれ/フジ子・ヘミング
花工房ライブラリー ●折々の散歩道/水上勉 ●トガリ山のぼうけん/いわむらかずお

秋山料理長の旬を楽しむ

冬のひとしな

鮭のりんご焼き



●材料

生鮭切身(40g)：3切、しめ地 銀杏・百合根・ミツ葉・りんご千切り(太め)：具材適量切

○和風マヨネーズ

卵黄：3ヶ、サラダ油：180、200cc、白味噌：15g、砂糖：大さじ1.5、塩：小さじ1、レモン汁：少々

○和風マヨネーズの作り方

卵黄3個をボールに入れサラダ油を少しずつ入れホイップしていき、少し固くなったら、砂糖、塩を入れ、ホイッパーから落ちない位までサラダ油を入れ白味噌をまぜ、レモン汁で味を整える。

*分離しないよう気をつけて。

●作り方

軽く塩をふった鮭を半分位焼いておき、和風マヨネーズと具材を合せ鮭に乗せ、170〜180℃のオーブンで焦げ目がつく位焼き上げる。

*白身魚(カレイ、生鰯など)、鶏肉などでも合います。

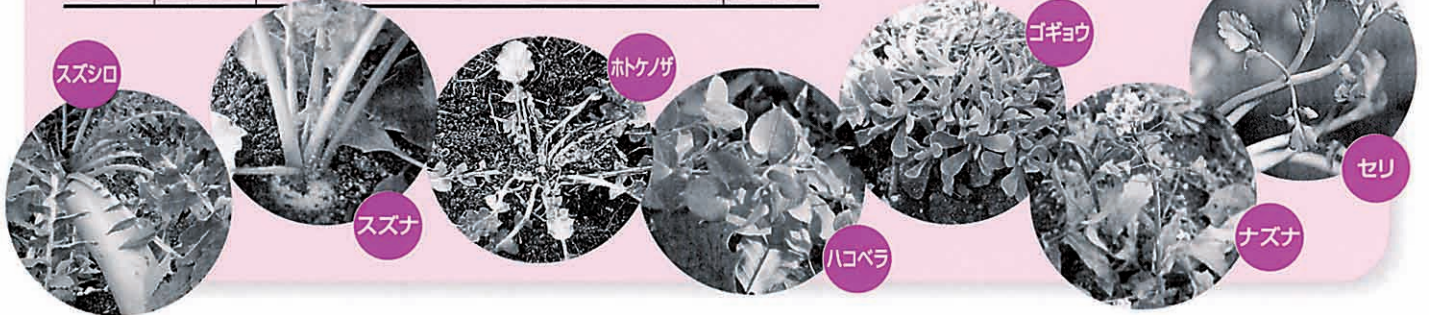
新春の新鮮な香り

春の七草
まめ辞典



せり、なすな、ごぎょう、はこべら、ほとけの座、すずな、すずしろ、これぞ七草リスミカルに覚えましょう！
七草粥を作るときは、まな板の上に七草を置き「七草なすな、唐土の鳥が、日本の土地へ、渡らぬさきに、ストトン、トントン…」などとなるべく大きな声で唱えながら七草を刻み、無病息災を願います。

名前	科	特徴・摘み取る場所	効能
セリ	セリ科	早春の代表的な摘み草。香りが良い。田や畔などの湿地に自生。	高血圧・神経痛
ナスナ	アブラナ科	別名べんべん草、三味線草。田畑や庭などどこにでもはえるたくましい雑草。	高血圧・便秘
ゴギョウ	キク科	正しくは「おぎょう(御形と書く)」別名母子草。日当たりの良い荒地に自生。	咳・痰・解熱
ハコベラ	ナデシコ科	ハコベのこと。秋に芽を出し3月から5月に花をつける。田畑や庭などに生える二年草。	歯槽膿漏・利尿
ホトケノザ(タバコ)	キク科	本物のホトケノザはシソ科に属し赤紫の可憐な花をつける。若葉を食用する。田畑や林に生える二年草。	胃潰瘍・歯痛
スズナ	アブラナ科	「青菜」と書いてスズナ。現在の蕪のこと。	消化促進・しもやけ
スズシロ	アブラナ科	「清白」と書いてスズシロ。現在のダイコンのこと。	二日酔い・扁桃腺炎



ついでに...
「おまじない」
「おまじない」
「おまじない」

新春恒例・空とぶくじら
16年干支組木プレゼント

写真の野菜は何でしょう？

クイズ
写真の野菜は何でしょう？

①たまねぎ
②にんにく
③あさつき

正解者の中から10名様に空とぶくじらの干支組み木をプレゼントさせていただきます。
官製はがきに住所、氏名、年齢を記入、プレゼント応募券を貼ってつきだて花工房までお送り下さい。1月31日の消印まで有効です。

14号プレゼント当選者発表

- クイズの正解は②の大根です。
おめでとうございます！
●入浴回数券1名様
堀江 あき様(月舘町)
●冬野菜セット5名様
太田 和子様(神奈川県)
川津知佳子様(千葉県)
寺島 光世様(千葉県)
渡辺かね子様(月舘町)
佐藤 文子様(月舘町)

お便り
コーナー

柚みろ
大根が
つまい

ムーン講座受講者
(月舘町:斎藤智恵子様)

朗読
朗読のメニューもステキでした。「泣いた赤おに」は保育士だったころ読むとどうしても泣けてくるのでこまった絵本でした。とてもきれいな日本語で声に出して読むと息つきも楽。大好きな絵本でした。それにチェロとピアノですからね。これは私にとってスペシャルでした。本当にありがとうございました。
(福島市:掃部郁子様)

花
しばらく教室をお休みしていたのは、お友だちが送った1枚の絵手紙のおかげでした。心を送る絵手紙、これからも続けてくださいな。

花
おいでくださいなみなさんにお持ち帰りいただいたノースポールは花工房で種を植えて育てたものです。花を見るたびに赤おにのお話しや花工房のことを、思い出していました。たら、とてもうれいす。

はなくらぶ
ムーン講座
受講者募集

自分自身と向き合う時間を提案します。
●絵手紙教室
一日 程 1月26日・2月9日
3月8日 すべて月曜日
時間 午前10時から
[受講料] 1,000円(1回)
[講師] 和田恵秀先生(切絵画家)

●ハーブ教室
ハーブソルトつくりと
ハーバルライフQ&A
一日 程 2月22日(日)
時間 午前10時半から
[受講料] 1,500円
[講師] 菅野夕起子先生
(ハーブコーディネーター)

夢

つきだて花工房初代所長を勤めた「松浦武夫さん」にお願いして書いていただいた大事な書です。

編集後記
わたしは大好きな絵本作家、ターシャ・テューダの言葉を座右の銘としています。「夢は見るものではなくて叶えるものよ」
私の夢のひとつを公表してしまおうと、自宅に小さな図書室を作りました。好きな音楽を流し、陽だまりの中でお気に入りの本のページをめくる、想像するだけで元気が沸いてきます。「夢は叶う」そう思って過ごせたらさう今日がきつと前向きに生きられるはず。2004年、年頭、またひとつ新たな夢を掲げました。こちらは内緒にしておきました。どこで「初夢」のほうは、どんなでしたか？(佳代)

ムーンセラピー
月の明かりで疲れた心を癒したい。
いまずくカレンダーにチェック!!

1月8日(木) [満月の夜] 1月22日(木) 2月20日(金) 3月7日(日) [新月の夜] 3月21日(日)

こまねび
「おまじない」
応募券